

校長室の窓から

平成30年4月10日（火）

培根の教育 No.2

学力向上の取り組み 中高学年の教科担当制2年目！

碓東小学校は、群馬県教育委員会の西部教育事務所から「学力向上推進指定校」に指定され、2年目になりました。1年目の昨年度の取組としては、「高学年を中心とした教科担当制」や、全校の授業の方法としての「碓東小スタンダード」（教科の特性に応じた「めあて」「まとめ」「振り返り」の取組、話し合い活動の活性化など）を行ってきました。

成果としては、各学級の授業で子供たちが「めあて」「まとめ」「振り返り」をすることに慣れ、担任が多くを指示しなくても、ノートに自分の考えや感想などを書けるようになり、本時の内容確認や次時の学習に見通しをもつことができるようになってきました。また、隣どうしやグループでの意見発表や話し合いの仕方が身に付き、恥ずかしがらないで自分の考えや思いを伝える姿が見られるようになってきました。

課題としては、各教科でより効果的な「めあて」「まとめ」「振り返り」の仕方を追求することや、話し合いの場面では伝え合うだけでなく、双方向の話し合いをさらに活発にすることで、思考を一層深める・進化させる・変化させる・新しい考えを生み出すなどを目指すこと等が挙げられます。

教科担当制については、子供たちへのアンケートから「いろいろな先生に教えてもらえるので楽しい」「専門の先生に教えてもらえるので、わかりやすい」という声も聞かれるので、実態に合わせて継続していきます。具体的には下表のようになります。

教科担当 上段が教科名、下段は指導者。（表に無い教科等は担任が中心の授業。）

3年	国語（書写・図書） （勅使川原）・（片桐）						
4年		社会 （浅見た）	理科 （片桐）				
5年	国語（書写） （勅使川原）	社会 （浅見た）	理科 （片桐）	音楽 （小林）	図工 （眞下）		5年2組のみ 体育 （浅見た）
6年	国語（書写） （柄沢）	社会 （勅使川原）	理科 （片桐）	音楽 （小林）		家庭科 （柄沢）	体育 （岩井）

教科としての「道徳」と 移行期の「外国語(活動)」

今年度の教科指導で大きく変わった点は次の2つです。

1つは、「道徳の教科化」です。今までは、道徳の時間で子供たちの評価をしませんでしたが、教科になったので今年度からは評価することになります。他の児童との比較ではなく、その子の個人内評価をし、数字ではなく言葉で評価していきます。

2つめは、外国語（英語）です。平成32年度からの本格実施に向けて、平成30～31年度は移行期間（先行実施の期間）となります。授業時数としては、3・4年生で外国語活動として年間15時間以上、5・6年生で外国語として年間50時間以上行います。教材は、文科省から配付されたものを使います。安中市内の小学校は同一歩調で取り組み、児童が中学生になったときに差がついていないようにしていきます。

外国語を実施するための時間は、「総合の時間」の一部を一時削って捻出するので、毎週の時間割は変わりません。

子供たちに戸惑いがあると思いますが、できるだけ不安等を取り除けるように取り組みたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

「道徳」と「外国語(活動)」については、通信等で折に触れてお知らせしていきたいと思っております。

【裏面：今年度の校舎配置図】

